

スタンディング宣伝
6月2日(火)12時~13時
新市庁舎玄関前
(桜木町駅・本町通りアイランドタワー側)

みんなで止めよう カジノニュース STOP

発行元
カジノ誘致反対横浜連絡会
☎080-9747-6721
Fax 045-345-9664/



【上写真】12日・臨時市議会が開かれている市役所前宣伝に65人が参加。連絡会の後藤代表委員(写真)を始め、新婦人横浜連絡会・三山さん、横浜教職員の会・矢作さん、1区連絡会・吉田さん、共産党市議団・荒木団長、生健会・岩崎さんがスピーチ。最後は、「横浜の未来にカジノはいらない」と全員でコール!

市会与党の自民党や公明

新型コロナウイルス対策の臨時市議会が、十五日に閉会しました。補正予算は五千七百億円ですが、ほとんどが国から円ですが、ほとんどが国から。補助金で、市の独自財源は十億円です。これまで「カジノよりコロナ対策を」と、多くの団体が申し入れをしてきました。しかし市は、こうした申し入れに真摯に答えず、市民の生活困窮の改善には力を入れることはしませんでした。

米企業も進出断念 カジノは延期ではなく撤回を

十三日に突然「ラスベガス・サンズ、日本進出から撤退」の報道がありました。その理由として「日本のカジノ事業

衰えるカジノ企業

十三日に突然「ラスベガス・サンズ、日本進出から撤退」の報道がありました。その理由として「日本のカジノ事業

党からの延期申し入れ等もありカジノ誘致事業も二ヶ月の延期表明のみ。国に対し、申請期間の延期も言わずに「コロナ後の経済対策でカジノは必要」と安倍首相と同じ発言を繰り返す背景には、市民の反対運動などにより、市の事業者選定委員会委員選任なども進まない実態があります。

内容では期待する収益が望めない」というものでした。しかし、これまでのIRRカジノ法案は、政府とカジノ業者とが話し合い決めてきたものであるため、到底納得できるものではありません。

日本進出をもうろむカジノ企業(サンズ・MGM、メルコなどは、ラスベガス、マカオ、シンガポールを収益源としていますが、世界的なコロナ感染拡大もあり、どこも厳しい状況は変わりません。衰退するカジノ産業に横浜の未来を渡すわけにはいきません。誘致撤回へ、世論を広げていきましょう。

署名簿作成

ボランティア
募集中

日程:毎週月曜日~金曜日
時間:午前9時~午後8時
の可能な時間帯(1コマ1時間)

場所:横浜市従会館・会議室
(西区宮崎町25)

内容:署名簿に綴じ込む「請求者署名委任状」への押印作業です。
※参加可能な日程と時間帯を事前にお知らせ下さい

電話・045-241-0005(横浜市従会館)